

# 4

## 市のうつりかわり

わたしたちのまちや人々のくらしは、  
どのようにかわってきたのでしょうか。

1

### 宇部市の様子と人々の くらしのうつりかわり

昔と今の写真を  
比べて気づいた  
ことを話し合っ  
てみましょう。



①約60年前(1958年) おじいさん・おばあさんが子どものころ



①市役所前付近の国道190号の様子

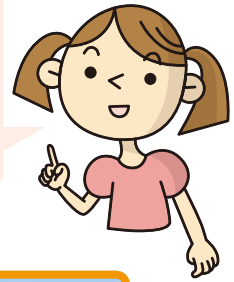


60年前は、車も少ないし、高い建物もあまりないね。

60年前は小さかった木が大きくなっているね。



現在の道路はアスファルトになっているよ。信号機もあるね。



①現在(2020年)



①市役所前付近の国道190号の様子





見比べてみると、宇部市の変化がわかるね。

ほかにも昔の宇部市の様子について、身近な人に話を聞いてみましょう。



## 昔(60~100年前)

## 現在(2020年)



宇部新川駅



ときわ  
常盤通り交差点



にしき  
錦橋

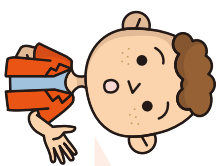


いしづや  
旧宇部井筒屋前国道190号



# かわってきた わたしたちの市

100年の間に、わたしたちのまちはどのようなかわってきたのでしょうか。



学校はどんな地形のところにたくさんあるのかな。

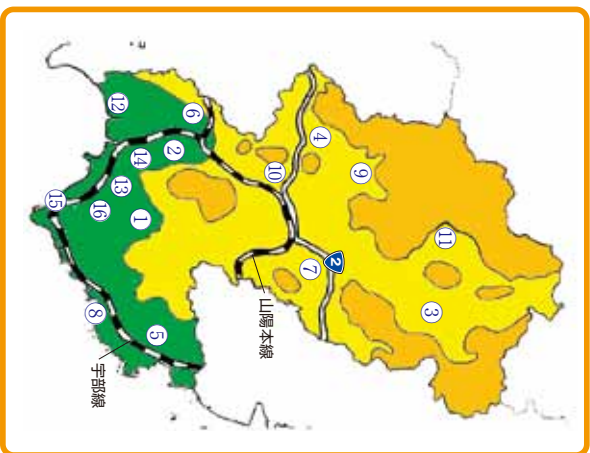


学校の数がふえてきているね。どうしてかな？

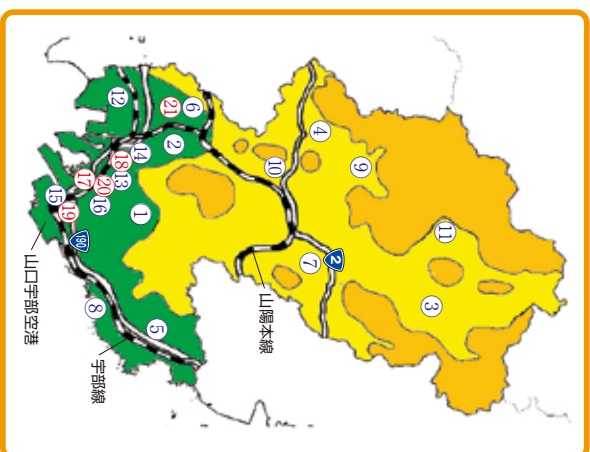
海がわの土地の形がかわってきているね。どうしてかな？



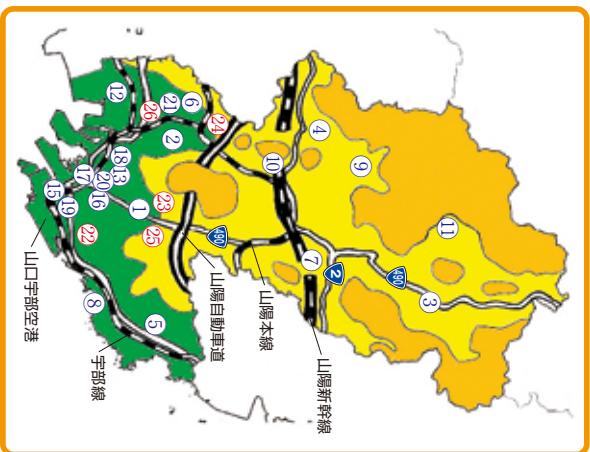
**約100年前 (1920年ごろ)**  
 ○鉄道(今のJRI)が開通し、宇部駅ができた。(1910年)  
 ○国道2号が制定(1920年)  
 ○宇部線が全線開通した。(1925年)



**約80～60年前 (1940～1960年ごろ)**  
 ○国道190号ができた(1953年)  
 ○小野田線が全通した。(1947年)



**～現在 (～2020年)**  
 ○山陽新幹線が開通した。(1972年)  
 ○国道490号が制定された。(1992年)  
 ○山陽自動車道が開通した。(1997年)



■高い  
 ■少し高い  
 ■ひくいところ

学校名	開校年
①上宇部小	1872年
②藤山小	1872年
③小野小	1872年
④船木小	1872年
⑤東岐波小	1873年
⑥厚南小	1873年
⑦二俣瀬小	1873年
⑧西岐波小	1874年
⑨万倉小	1874年
⑩厚東小	1875年
⑪吉部小	1875年
⑫原小	1901年
⑬新川小	1910年
⑭沖の山小	1910年
⑮岬小	1918年
⑯神原小	1923年
⑰見初小	1930年
⑱瀬ノ島小	1939年
⑲恩田小	1942年
⑳琴芝小	1958年
㉑宇部総合支援学校	1965年
㉒常盤小	1978年
㉓小羽山小	1981年
㉔西宇部小	1981年
㉕川上小	1989年
㉖黒石小	1994年

〈宇部市の主なできごと〉～宇部市では100年の間にたくさんのできごとがありました。ほかのできごとを調べてみてね。



1921年 宇部市誕生



1945年 宇部大空しゅう



1966年 宇部空港開港



1968年 沖の山小学校閉校



1980年 ニューカッスル市と姉妹都市締結

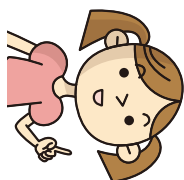


2004年 厚狭郡蒲町と合併



2018年 SDGs 未来都市に選定





100年前よりもっと  
むかしは、どんなようす  
だったのかな。



下のQRコードから  
むかしの人々がきょう土を  
開いていた様子を  
学習することができるよ。

別冊 CP&V きょう土を開く



たぐさんの人々の力で宇部市は  
はるかに  
発展してきたのがわかるね。

かんきょう  
わたしたちのまちの環境はどのようにかわってきたので  
しょう。



①1950年代の様子

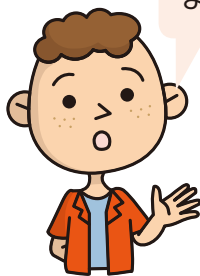


①現在(2020年)の様子



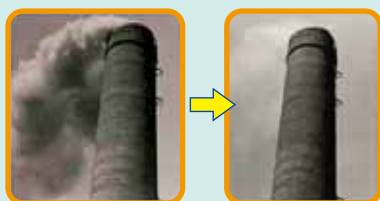
えんとつからけむりが  
たくさん出ているね。

このころは外に洗濯  
物を干すと洗濯物が  
汚れたらしいよ。



今はそんなことない  
よ。どうしてかな。

1950年代から宇  
部市の環境をよく  
しようとする活動  
がはじまったらし  
いよ。



ばいじん対策



常盤通りフラワーロード



花壇コンクール



緑と花のまちづくり募金



がいろ じゅせいそう  
街路樹清掃

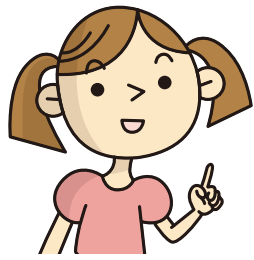


宇部市の人の数はどのようにかわってきたのでしょうか。

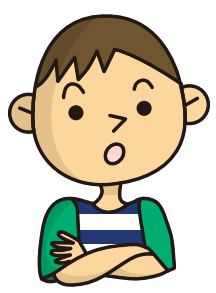
**約100年前（1920年ごろ）**  
 ○宇部市制施行（1921年）  
 ○藤山村といっしょになる（1931年）

**約80～60年前（1940～1960年ごろ）**  
 ○厚南村といっしょになる（1941年）  
 ○西岐波村といっしょになる（1943年）  
 ○東岐波村、厚東村、小野村、二俣瀬村といっしょになる（1954年）

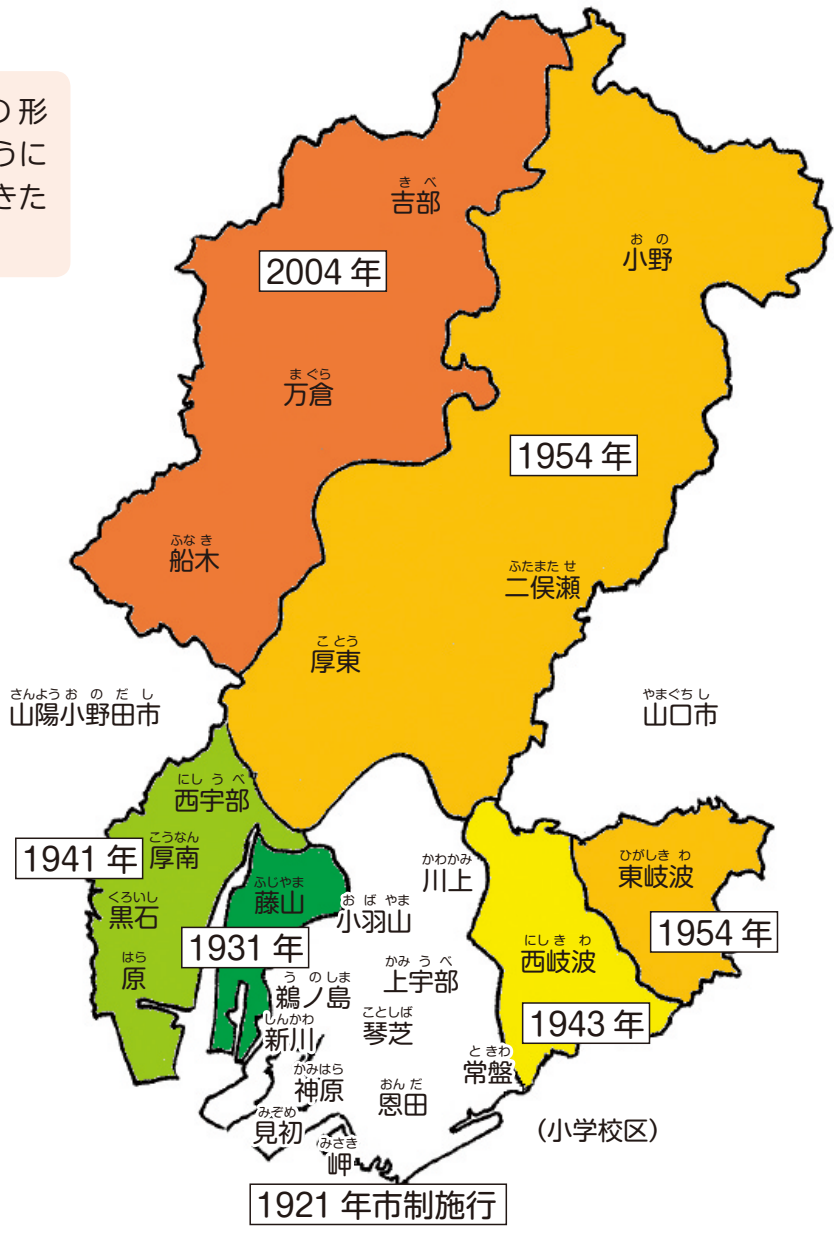
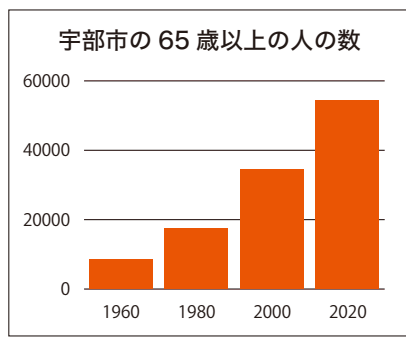
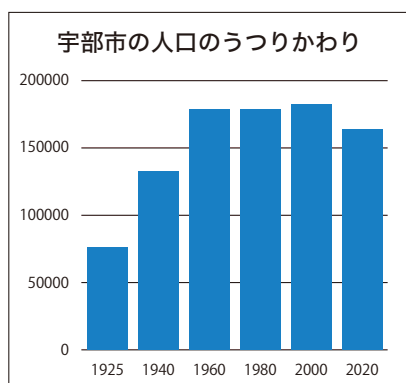
**～現在（～2020年）**  
 ○楠町といっしょになる（2004年）



宇部市の人口はどのように変化しているのかな。



宇部市の形はどのように広がってきたのかな。



3

## くらしの 変化

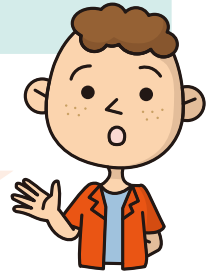
宇部市のように、人々のくらしのようすは、どのように変化してきたのでしょうか。

### (1) 石炭<sup>せきたん</sup>をほりはじめたころ (1675年ごろ)

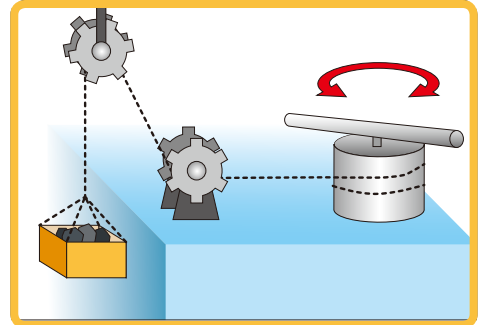


①のう家の人たちは、米作りのすんだ秋から春にかけて、井戸をほるような方法で石炭をほっていました。このあなは、たぶといわれて、深さが10メートルぐらいのものもありました。

このころは石炭をどんなことに使ったのかな。



### ● なんぼ 南蛮車の発明



①石炭は、どんどんほられるようになりました。けれども、宇部あたりは、深くほるとたくさんわき水が出てきます。1840年、亀浦<sup>かめうら</sup>の向田兄弟により南蛮車というきかいが発明されました。この南蛮車のおかげで、わき水をくみあげ、およそ40から50メートルの深さまでほって石炭をたくさんとることができるようになりました。

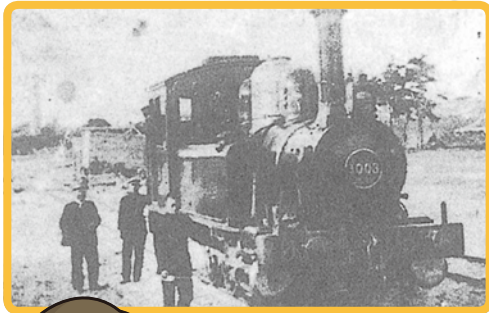
1675年ごろ、船木の住民がたき木のかわりに燃<sup>も</sup>やしていた石炭をほるようになり、炭田が発見されました。ほられた石炭は、馬や小さな船にのせて厚東川口、新川口などのつみ出し場に集められ、そこから石炭船で、下関、小野田、秋穂<sup>あいお</sup>、防府<sup>ほうふ</sup>などの塩を作るところに送っていました。



## (2) 鉄道がしかれたころ

1901年（明治34年）に、山陽鉄道（今の山陽本線）が下関まで開通かいつうしました。町の人々は鉄道を利用するようになり、石炭ゆそうの輸送にも使いました。

### 📍鉄道の広がり



📍**軽便鉄道**



汽車のねん料  
はなにかな。



### 📍じょうききかん

### 蒸気機関の利用



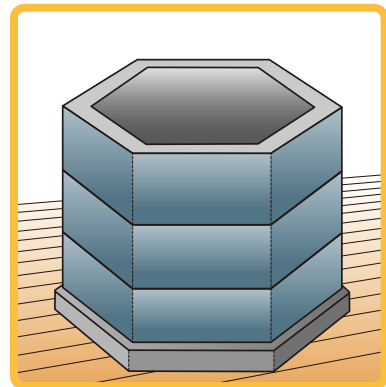
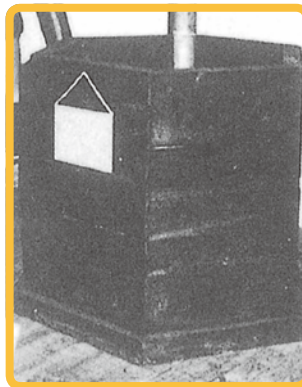
📍石炭を運ぶ貨車

📍宇部では、1887年（明治20年）ごろから蒸気機関が使われるようになり、ほった石炭を運んでいました。

こうして、ほり出される石炭のりょうも、たいへんふえました。

### 📍むしわく

### 蒸枠の発明



📍明治になってから、人々は海岸の近くにある石炭をほりはじめました。そのため、たくさんの水がでたり、土や砂がくずれたりして、たいへんでした。

1886年（明治19年）に蒸枠で水や土をふせぐ方法が居能の船大工和田喜之介によって発明されました。

蒸枠とは、厚さ10~15cm、はば40cmつじょうくらいつじょうの木を正六角形に組み合わせ、筒状につないだものです。



ほっている人のふくそうや、使っている道具について調べてみよう。

### (3) 村から市へ

1921年（大正10年）11月1日、宇部村から宇部市（旧市）になりました。村から町をとびこえて市になることは、日本でもめずらしいことでした。こののち、いろいろな町村と合併しながら宇部市は広がっていきます。



市になったおiwaiのようす

2004年（平成16年）には、宇部市と楠町とが合併して、新しい宇部市になりました。

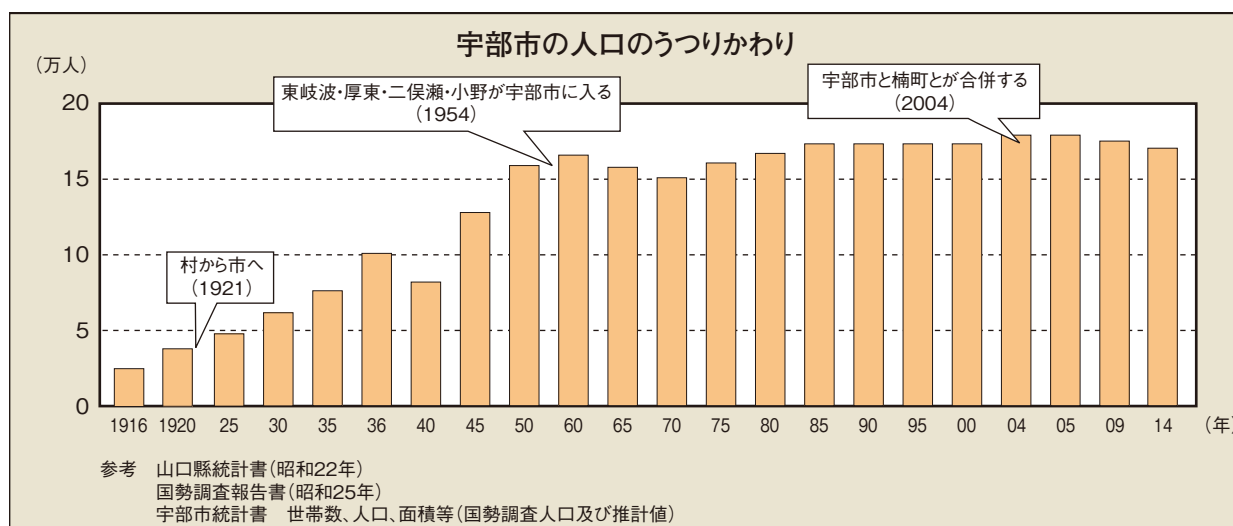
宇部市はどのようにして今日のような宇部市になったのでしょうか。そして、これからどのように発展していくのでしょうか。

#### ゆうとくんのひいおじいさんの話



11月1日の午前6時、炭鉱や工場の汽笛が一斉に鳴り響いたんだ。それを合図に、みんな琴崎八幡宮に参拝にいったんだよ。ものすごくたくさんの人だったよ。

3日まで市はお祝いムードでとてもにぎやかだった。何しろ、山口県で2番目に市になったんだからね。





## (4) 戦争のころ

1941年(昭和16年)に太平洋戦争がはじまりました。そのころ人々は、どんな生活をしていたのでしょうか。おうちの人や当時の事を知っている人に話を聞いてみましょう。

### ● 宇部の空しゅう

戦争がはげしくなると、宇部市も、アメリカ軍のひこうきによって、ばくだんをあびました。

とくに1945年(昭和20年)7月2日の大空しゅうでは、たくさんの方がやけました。



↑昭和20年7月2日にやけた町

#### ● 8回にわたって

空しゅうにきた飛行機……………280機  
落としたばくだんやしょういだん…3200発



たくさんの方が、空しゅうでなくなつたんだね。

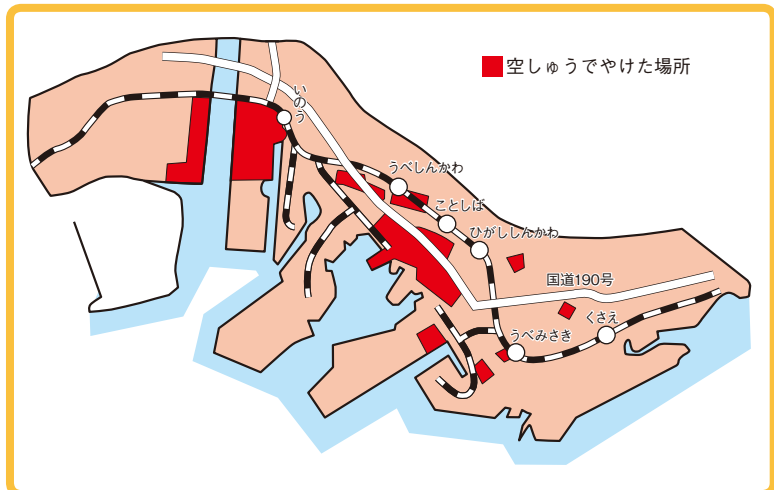
#### ● 8回の空しゅうでうけたそんがい

死んだ人……………254人  
けがをした人……………537人  
行方のわからない人……………68人  
やけた家の数……………6233戸  
さいがいをうけた人……………25424人



#### 調べてみよう ←

戦争があったころのくらしのようすを調べてみましょう。



↑空しゅうでやけた場所

## (5) 戦時中の生活

### ひなちゃんのひいおばあさんの話



広島に「げんしばくだん」がおとされた前の日（8月5日）の朝方まで、居能町にあった油工場がアメリカのひこうきの「ばくだんこうげき」をうけました。

油工場は一晚中空をまっ赤にしてもえつづけ、めちゃくちゃにこわされました。

そして工場のちかくにあった町の家にもたくさんの「ばくだん」がおとされ、多くの人たちがなくなりました。わたしの姉も2人の子どもと「ぼう空ごう」の中に入ったまま「ばくだん」で入口をふさがれ、なくなりました。

それから、10日後の8月15日にせんそうは終わりました。毎年、8月が来ると「ばくだんこうげき」の日のことがうかんできます。



① ぼう空ごうにひなんする



① ひばく こうじょう  
被爆した工場

### ● 戦後のようす

せんそうで大きなひがいをうけましたが、宇部市の人々は力を合わせ、新しいまちづくりに取り組みました。とくに50メートル道路（常盤通り）は、「町の真ん中に、かつ走路をつくっている。」と言われるくらい、そのころではとんでもない広さの道路だったそうです。



## (6) 炭鉱がなくなったころ

下のグラフは、岬小学校と沖の山小学校の児童数のうつりかわりをあらわしています。グラフを見て、気づいたことを話し合いましょう。

### 沖の山小学校の先生だった人の話

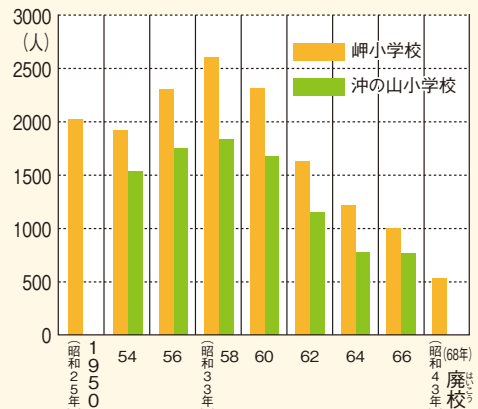


沖の山小学校は、1954年（昭和29年）に復校し、14年後の1968年（昭和43年）に廃校になりました。今の西部体育館のところにありました。昭和30年代の日本のエネルギーは、石炭が主で、沖の山炭鉱でも石炭の生産がさかんになり、炭鉱ではたらく人がたくさん集まりました。その人たちは「社宅」という会社が用意した家にすんでいました。

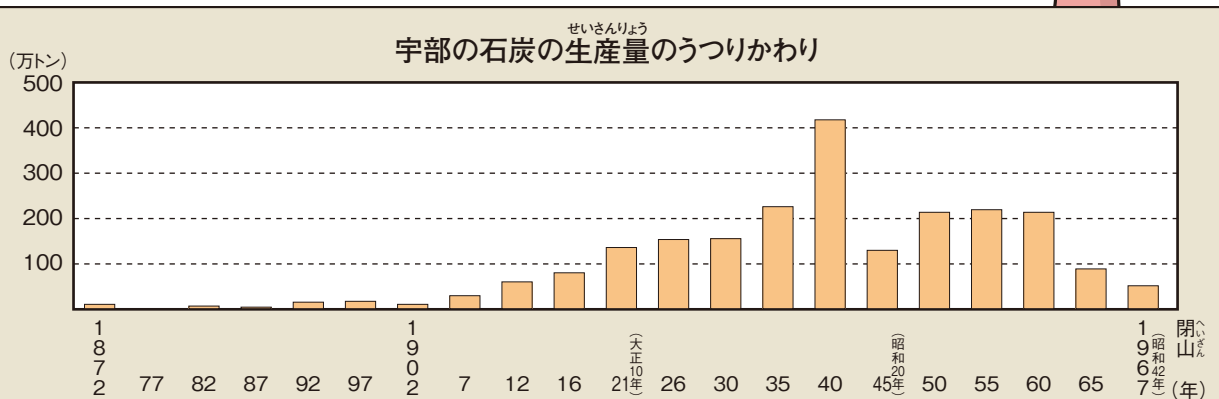
沖の山小学校は、炭鉱ではたらく人たちの子どものために開かれた学校でした。開校時の児童数は、各学年200人以上いました。

日本のエネルギーの主役が、石炭から石油にかわり、炭鉱が閉山になったために、多くの人々は、市外や県外へ去っていき、学校は廃校になりました。

岬小学校・沖の山小学校の児童数のうつりかわり



児童数がへっているね。どうしてかな？



## ● 石炭から石油へ

宇部の石炭は、ほかの石炭とくらべてねだんが安いので、北九州や大阪方面へもたくさんおくられました。

大じかけな宇部<sup>こうぎょうしょ</sup>炭業所（沖の山<sup>たんこう</sup>炭鉱）のほかにも、多くの炭鉱（280ぐらい）がありました。

しかし、1960年（昭和35年）ごろから、石油にきりかえる工場が多くなり、石油を<sup>りょう</sup>げん料にして、いろいろなものを作るようになりました。それは石炭よりも石油のほうがねだんが安く、もえかすも出なかったからです。

1967年（昭和42年）10月、70年間ほりつづけた沖の山炭鉱が<sup>へいざん</sup>閉山しました。300年のれきしをもつ宇部の炭鉱が全部すがたをけしました。

海底の石炭を<sup>ほ</sup>掘るための工夫や努力・苦勞（事故など）を調べ、ささえてきた人々の暮らしについて話し合ってみましょう。



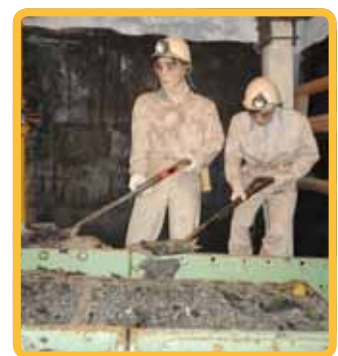
①石炭記念館

宇部の炭鉱について調べることができます。

## ● 石油から石炭に

1970年代の終わりごろから、石炭から石油にきりかえていた工場でも、外国から石炭を買って石油のかわりにエネルギーとして使うところがふえてきました。それは、石油を買っていた国のせんそうなどのため、石油が自由に買えなくなり、ねだんも高くなった（オイルショック）ことがあったからです。

また、石炭をエネルギーとして使うだけでなく、石炭からいろいろなせい品を作り出すことも<sup>けんきゅう</sup>研究されました。そのため、石炭はますます<sup>ひつよう</sup>必要になってきました。



①石炭を掘っていたころのようす（石炭記念館の人形）

## (7) 産業の発展に尽くした人—渡辺祐策(1864-1934)—

宇部市の中央に渡辺翁記念会館（写真ページ⑥）があり、その前庭には、渡辺祐策の銅像がそびえ立っています。これらは、祐策の業績を記念して造られたものです。



明治時代の初め、宇部は海辺の小さな村でした。人々は、地表近くの石炭をほって生活のたしにしていました。そんな中、明治30年(1897年)、祐策は「沖の山炭鉱」という大きな炭鉱を開発したのです。それをきっかけにして、宇部の石炭の産出量も大きく伸び、宇部の人口も増えてきました。

それにともなって、祐策は宇部港や道路を整備し、鉄道会社も設立しました。また、ランプが中心の時代に安全で便利な電灯が使えるように電気会社を作ったり、衛生的な水が飲めるように上水道を整備したりしました。後に、それらを市や県に寄贈しました。

さらに、祐策は「地下にねむる石炭には限りがある。石炭を掘り出すだけの産業だけにたよってはいけない。」と考え、セメント工場・ちっそ工場などを設立し、現在の宇部興産の基礎を作り上げました。

また、幼稚園や小・中学校の建設など、教育にも大きな力をつくしました。

このように、渡辺祐策は、私財をなげうって、郷土発展のためにその一生をささげた人なのです。



## (8) 医学の発展に貢献した人—本庶 佑(1942-)—

2018年、本庶佑さんは、がんの革新的治療法を切り開いた功績により、日本人で5人目となるノーベル生理学・医学賞を受賞しました。日本出身のノーベル賞受賞者としては27人目の快挙でした。



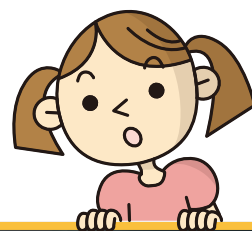
また、これまでも日本学士院会員や文化功労者として顕彰され、2013年には文化勲章が授与されています。

2019年には宇部市民栄誉賞表彰式が行われ、小野地区の伝承文化である「紙すき」により、地元厚東川中学校の生徒と地域住民と一緒に制作した表彰状を贈呈しました。

本庶佑さんは、1942年京都府京都市で生まれ、戦後は宇部市で育ち、神原小学校、神原中学校、山口県立宇部高等学校を卒業しました。京都大学大学院医学研究科を修了後、大阪大学医学部と京都大学医学部で教授を併任しました。1995年より、京都大学大学院の医学研究科教授となり、研究科長や学部長を歴任しました。2020年4月からは、京都大学がん免疫総合研究センターのセンター長に就任しています。

## (9) 道具のうつりかわり

形は変わっても、今も使っている道具だね。



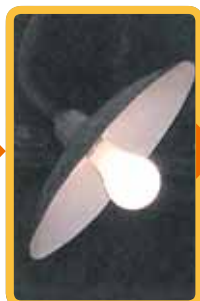
### 照明



①あんどん



①ランプ



①電球



①けい光とう



①LED

### 電話



①かべかけ電話機



①たく上電話機



①プッシュホン（子機付）



①けいたい電話



①スマートフォン

### テレビ



①白黒テレビ



①カラーテレビ



①デジタルテレビ

おじいちゃんやおばあちゃんに昔のことを聞いてみよう！



昔の道具には、くらしを少しでも<sup>ゆた</sup>豊かにしていくための「ちえ」がたくさんつまっています。今の便利<sup>べんり</sup>な道具も、たくさんの人々の「ちえ」から生まれたものです。その時代<sup>じだい</sup>、その時代の人々のくらしや願<sup>ねが</sup>いを調べて、便利にしていくための努力や工夫について話し合ってみましょう。

## (10) 昔の学校

昔の学校の様子について調べてみましょう。

今の学校とどんなところがちがうのかな。



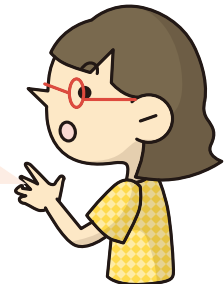
① 上宇部中尾にできた宇部小学校(今の上宇部小学校)のようす [1872年ごろ]



① 勉強のようす



どんな学校でどんな勉強をしていたのかな。



みなさんの学校はいつごろできたのが調べてみましょう。←

- わたしたちの学校ができたのはいつでしょう。
- じどう数はおよそなんくらいだったでしょう。
- どんな学習や行事が行われていたでしょう。

	月	火	水	木	金	土
1時間め	修身 算術	算術	修身 算術	算術	修身 算術	算術
2時間め	唱歌	作文	体操	作文	算術	体操
3時間め	算術	読書	作文	読書	唱歌	読書
4時間め	読書	図画	読書	図画	読書	
5時間め	習字	習字	習字	習字	習字	

① 1890年ごろの小学3年生(男子)の時間割の例  
(松本尋常小学校)



4

## 世界と 手を結ぶ

宇部市と外国とのつながりを調べましょう。

### (1) ニューカッスル市との交流

宇部市では、かねてから宇部市とよく似た外国の都市と友だちになりたいと考えて、いろいろさがしていました。そこで、宇部市と都市の様子が似ているうえに、市内の工場にたくさんの石炭を送ってきているニューカッスル市がうかびあがり、1980年（昭和55年）に姉妹都市の縁組みをしました。



①ニューカッスル市

ニューカッスル市はオーストラリア東部の都市で、2000年（平成12年）にオリンピックが行われたシドニーの北東にある、人口約15万5千人のまちです。市の中心部は工場がたく

さんあり、奥地<sup>おく</sup>からは、たくさんの石炭をほり出しています。また最近<sup>さいきん</sup>では、観光都市<sup>かんこう</sup>としても注目されるようになり、美しい海岸線<sup>ゆた</sup>と豊かな自然を求めて、多くの観光客<sup>おとず</sup>が訪れています。

姉妹都市になってからは、毎年たくさんの人が行き来して親善<sup>しんぜん</sup>を深めています。特に中学生の代表は、毎年夏休みにニューカッスル市<sup>ほうもん</sup>を訪問し、ホームステイをして楽しく交流<sup>こうりゅう</sup>を深めています。

また、ニューカッスル市からも宇部市内の学校に中学生・高校生が訪れています。

## (2) 威海市<sup>い かい</sup>との交流

山口県は中国の山東省<sup>さんとうしょう</sup>と友好関係<sup>ゆうこう</sup>をむすび、これまで積極<sup>せっきよく</sup>的に交流をすすめてきています。1988年(昭和63年)に宇部市からも山東省を訪れ、省のすすめで威海市を訪問しました。それをきっかけとして交流を深め、1992年(平成4年)5月に友好都市<sup>えんぐ</sup>の縁組みをしました。



①威海市

威海市は山東省の一番東にある人口約253万6千人の都市です。三方を海に<sup>かこ</sup>囲まれ、中国でも有名な<sup>ゆうめい こうわん</sup>港湾・観光都市です。ハイテク<sup>さんぎょう</sup>産業や<sup>けいざいぎじゅつ</sup>経済技術の<sup>かいはつ</sup>開発に力を入れ、大きく成長しています。また、山東省の<sup>しょくりょうせいさん</sup>食糧生産基地でもあり、<sup>くだもの</sup>果物や水産物の主な<sup>さんち</sup>産地となっています。

四季がはっきりし<sup>きこう</sup>過ごしやすい気候のため、毎年多くの観光客が訪れています。友好都市になってから宇部市との行き来もふえ、中学生が<sup>そうご</sup>相互に訪問して楽しく交流を深めてきました。

世界の人たちと友だちになるために、わたしたちにはどんなことができるでしょう。



### 交流のようす



↑威海市の友だちとの交流



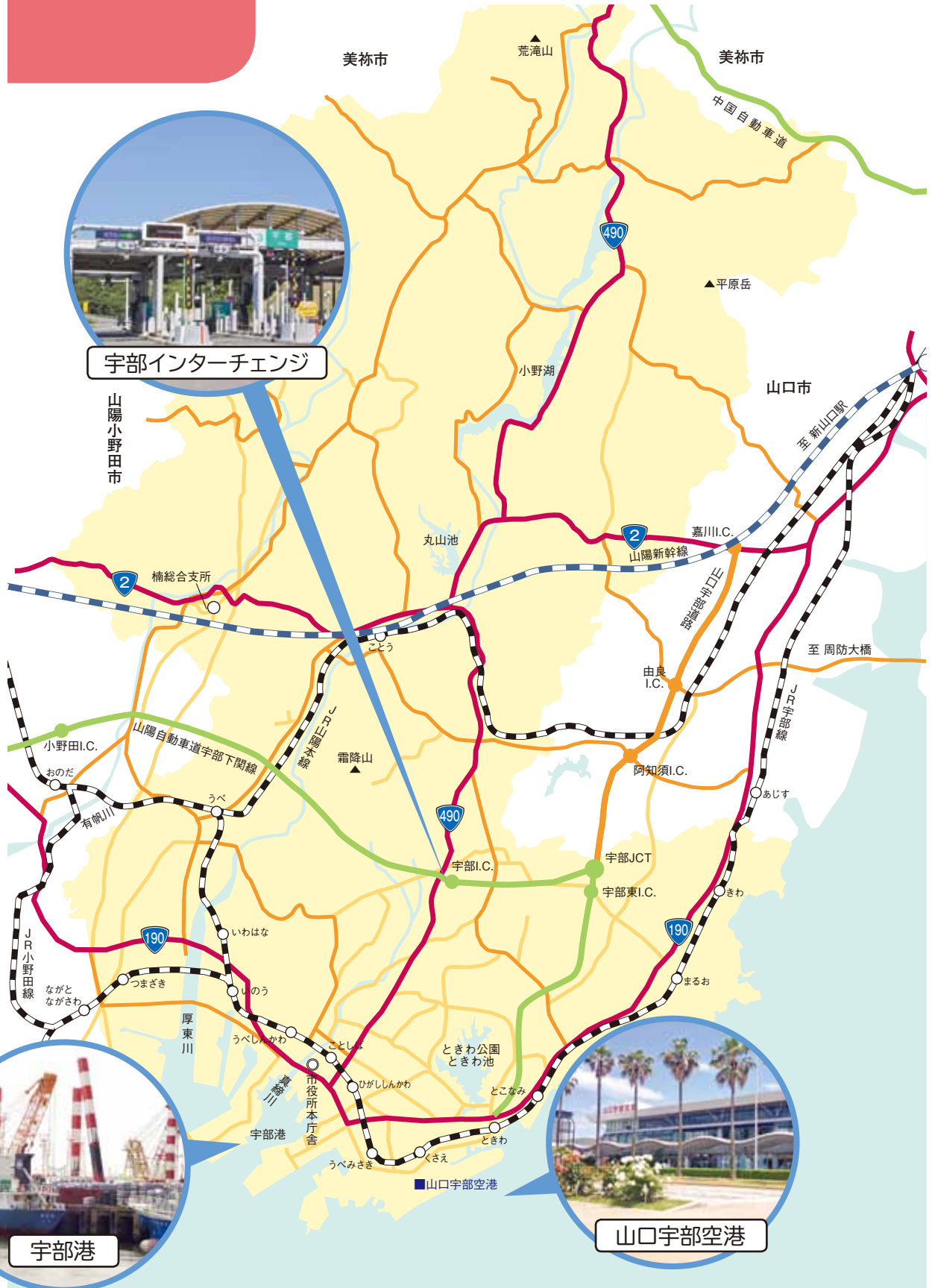
↑ニューカッスル市の友だちとの交流



5

# 広がる 交通網

宇部市の交通の様子について調べてみましょう。



## 山口宇部空港



1966年（昭和41年）に宇部空港ができました。

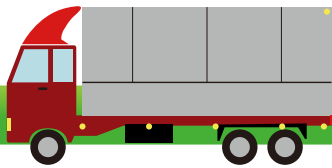
その後、1980年（昭和55年）からジェット機が飛べるようにかっ走路



を2000mにのばし、名前も山口宇部空港に変わりました。

さらに、2001年（平成13年）3月までに、大型ジェット機が乗り入れられる2500mのかっ走路と新ターミナルビル、空港公園などが完成し、新しい空の玄関として大きく生まれ変わりました。これにより、一度に多くの人や物を速く遠くまで運べるようになりました。

ぼくのお父さんは、出張でよく山口宇部空港を利用しているよ。



## 山陽自動車道



2001年（平成13年）3月には、高速道路も整備されました。山陽自動車道宇部下関線が開通し、川上に宇部インターチェンジができました。この道路は、山口宇部道路とつながっています。

6

## 新しいまちづくり

宇部市のまちづくりについて調べてみましょう。

2004年（平成16年）11月、宇部市くすのきと楠町がっぺいとが合併して、新しい宇部市が誕生たんじょうしました。

宇部市では、「みんなで築きずく、活力かつりよくと交流こうりゅうによる元気都市」を目指して、わたしたち市民が参加さんか・協力れんけい・連携してまちづくりに取り組めるように、5つの目標もくひょうをかかげています。

かん ぎょう  
環 境

し じん との きょうどう により、ち い きかんきょうりよく たか めます  
市民との協働により、地域環境力を高めます



ち い き による こ そ だ し えんかっどう  
① 地域による子育て支援活動



あんぜん どうげごう し えんかっどう みまも たい  
① 安全な登下校支援活動（見守り隊）

あん しん  
安 心

す じ ん により、あんしん く せいかつかんきょう つく ります  
住みよく、安心して暮らせる生活環境を創ります



けい かん  
① まちなみ景観づくり



しん と し  
① 宇部新都市（あすとぴあ）

画像提供 : Google Earth Image@2016 TerraMetrics



けんこう  
健康

市民みんなが参加して、健康づくりの輪を広げます



①くすのきカントリーマラソン



①小野湖交流ボート大会

しみんりょく  
市民力

人ちからを高め、市民力を伸ばします



①まちづくりの話し合い



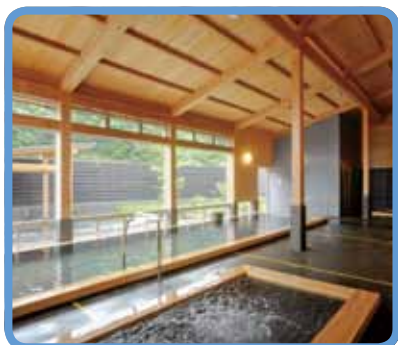
①市民による防災訓練



①花いっぱい運動

ちいき  
地域ブランド

地域資源活用による“宇部ブランド”を創造・発信します



①くすくすの湯



①ときわ動物園



①うべ元気ブランド

みなさんも、将来、宇部市をどのようなまちにしたいか話し合ってみましょう。



エスディーゼーズ  
宇部市はSDGs 未来都市です。

# SDGsって何だろう？

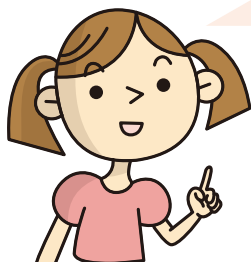
誰ひとり取り残されることなく、  
人類が安定してこの地球で暮らし続けることができるように、  
世界のさまざまな問題を整理し、解決に向けて具体的な目標を示したのが、

**SDGs (持続可能な開発目標)** です。

2015年に国連で採択され、国際社会は一致団結して、  
2030年を目指してこの目標を達成しよう、と合意しました。

SDGsには、世界を変えるための17の目標があります。

あらゆる形の貧困を世の中からなくし、  
不平等とたたかい、気候変動に対処しながら、  
「誰ひとり取り残さない」ための取り組みです。



SDGsの達成に向けた優れた取り組みを提案する都市として、「SDGs未来都市」に選定されました。

ぼくたちにできることはなんでしょう。



わたしの学校にもこんなポスターがあるよ。



**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

世界を変えるための17の目標

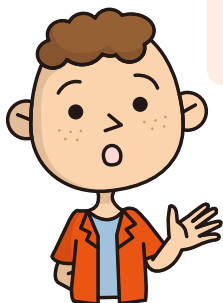
子どもの学びと成長を保障する教育の推進 **宇部市教育委員会** LEE City Board of Education



宇部市は共生社会ホストタウンです。

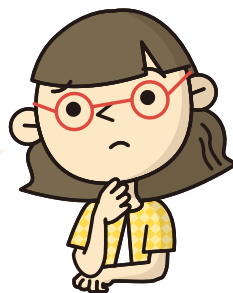


宇部市は令和元年8月に先導的共生社会ホストタウンに認定されました。  
共生社会ホストタウンとして誰もが生き生きと暮らせる社会を実現するために、宇部市では、ユニバーサルデザインのまちづくりと心のバリアフリー化に取り組んでいます。



共生社会って  
なんだろう。

わたしたちに  
できることは  
なんだろう。



### ● 共生社会

誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会です。

国の取り組みとして、共生社会ホストタウンのうち先導的・先進的な事業を計画している自治体を先導的共生社会ホストタウンとして認定することとなり、本市を含む9自治体が認定されました。